

2016年1月4日

第一生命保険株式会社

社長 渡邊 光一郎

## 2016年1月 社長年頭所感

明けましておめでとうございます。

第一生命グループは、2015-2017 新中期経営計画「D-Ambitious ～グループを挙げた持続的価値創造の実現～」に取り組んでいます。その初年度である 2015 年度の上半期決算においては、連結経常収益・経常利益・純利益が上場来最高水準を更新し、幸先のよいスタートを切ることができました。

変化のスピードが速い時代において、我々は創業以来の経営理念である「お客さま第一主義」をこれからも、そして未来永劫実践していくために、今やらなければいけないことを申し上げます。

### “Growing Together”（グローイング・トゥギャザー）

#### 持株会社体制への移行という節目の年、共に学び合い成長することで価値創造に挑み続けよう

第一生命グループは、今年 10 月、持株会社体制に移行する予定です<sup>※1</sup>。まさにグループ新体制スタートとなる年に、グループ内での一層のシナジー発揮に向けて、国内外のグループ各社や各所属が、共に尊重し（Respecting each other）、共に学びあい（Learning from each other）、共に成長しながら（Growing together）グループ全体の企業価値を向上させていくことを改めて確認したいと思います。

国内生命保険事業においては、昨年8月よりネオファースト生命が販売を開始し、国内3社体制が本格的にスタートしました。お客さまのライフスタイルの変化やニーズの多様化は、今後ますます加速することが予想されます。第一生命グループとしては、きめ細かいコンサルティング・充実した商品・サービスを営業職員が提供する「第一生命」、金融機関窓口で貯蓄性商品を提供する「第一フロンティア生命」、銀行や来店型ショップなどの乗合代理店でシンプルな商品を提供する「ネオファースト生命」の3社で、競争力の高い商品・サービスを機動的に提供していきます。海外生命保険事業においては、日本・北米・アジアのグローバル3極体制により、経営管理態勢をより強化するとともに、グループ各社がお互いに学びあうことによりグループシナジーを追求することで、各国において着実な成長を実現していきます。

また、第一生命グループとして、保険ビジネス（Insurance）とテクノロジー（Technology）の両面から生保事業独自のイノベーションを推進していく取組みを“InsTech（インステック）”と銘打ち、お客さまの利便性を一層向上させる取組みを加速させていきます。

私たちは、2020年に目指す姿として中長期ビジョン「安心の最高峰を、地域へ、世界へ」を掲げました。このビジョンのもと、第一生命グループの強みであるDSR経営<sup>※2</sup>の実践を継続し、日本、そして世界のそれぞれの地域で一人ひとりのお客さまへ最高峰の安心をお届けし続けるために、グループ全体の成長（“Growing Together”）を実現していきましょう。

以上

※1 持株会社体制への移行は、2016年6月に開催予定の当社定時株主総会での関連議案の承認および当局による許認可等を条件に実施します。

※2 DSR(Dai-ichi's Social Responsibility)経営とは、全社でPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを回して経営品質向上に努め、ステークホルダー(利害関係者)の皆さまへ価値を提供する、第一生命独自の価値創造経営です。